

# Windows10のアップグレードは大丈夫？

～導入における懸念事項を徹底討論～

Microsoft atLife

Microsoft atLife サイトの検索

Microsoft atLife とは? サイトマップ

TOPICS TIPS テンプレート 製品サイト SNS リンク集 サポート ダウンロード キャンペーン PC 情報 購入情報 Club Microsoft

Home > TOPICS > Windows 10 アップグレードガイド > STEP 2 アップグレード前の事前確認

Windows 10  
アップグレード  
ガイド  
Windows 10 UPGRADE GUIDE

どれくらい速くなるの? STEP 1 Merit アップグレードのメリットをみる

互換性は大丈夫? STEP 2 Check アップグレード前の事前確認

アップデートのやり方は? STEP 3 How to アップグレード方法をみる

どうやって使うの? STEP 4 Guide ガイドのダウンロードはこちら

STEP 2 Check | アップグレード前の事前確認

まずは、お使いの PC・タブレットの互換性をチェック。そのあとによく使うソフトウェアやプリンターなどの周辺機器の互換性をチェックしよう。

2016年 5月 19日 (木)

大石 英

# 目次

## 【導入してみた経験から】

- ・ 講師略歴
- ・ 会社紹介
- ・ 導入環境
- ・ 導入背景
- ・ 導入後の現状
- ・ 発生した問題点
- ・ 今後の懸念点
- ・ 導入してみたの感想

## 【Windows10移行への道】

- ・ サポート終了の流れ
- ・ Windows10非対応の社内アプリケーションは…
- ・ エディション構成
- ・ アップデートルート  
(アップデートブランチ)

# 講師略歴

- ・ 大学時代は考古学専攻
- ・ 1990年、地方の中小独立系ソフトウェアベンダへ入社
- ・ トrendの変遷に従い汎用機、クライアント/サーバー、Webアプリケーションに対応した通販パッケージのシステムエンジニアとして設計/開発を担当
- ・ ソフトウェアベンダに就職したはずが、新規事業やグループ内業務整理で通販全般アウトソーシング会社に変貌
- ・ この会社が新規事業開拓の一環として2013年にキャッチボールをM & A
- ・ D&Dメンバだった流れで、なし崩しにシステム担当に

システムを構築する側から、システムを管理する側、更にキャッチボールの自社業務マニュアル（手順書）作成まで、何でも屋と化して日々悪戦苦闘中。

# 会社紹介

後払いドットコム（株式会社キャッチボール）

<https://www.ato-barai.com/>

The image shows a screenshot of the website <https://www.ato-barai.com/>. The website header includes the URL, the company name "コンビニ後払い決済" (Convenience Store After-Payment Settlement), the logo "後払いドットコム" (Ato-Barai Dot Com), and navigation links: "すぐ分かる「後払い決済」" (Understand 'After-Payment Settlement' quickly), "サービス内容" (Service Content), "ご利用料金" (Usage Fees), and "導入実績・成功事例" (Introduction Record / Success Stories).

The main banner features the text: "業界最安値の決済手数料! 【全プラン】初期費用0円・固定費0円〜でノーリスク! 売上アップを目指す ネットショップ向け 後払い決済サービス 0円".

A callout box on the right explains the service: "後払いドットコムとは 店舗様の代わりに当社がお客様から現金後払いで商品代金を回収・立替え先払い”するサービスです。" (What is Ato-Barai Dot Com? It is a service where, instead of the store, our company collects and replaces the cash payment for goods from customers on their behalf.)

Additional information in the callout box includes: "導入に関するお問い合わせは お気軽にご連絡ください" (For inquiries about introduction, please contact us easily), the phone number "0120-667-690", and the reception hours "受付時間 9:00~18:00".

Below the callout box, there is a link: "後払いドットコムで商品をご購入したお客様はこちらへ!" (For customers who have purchased goods with Ato-Barai Dot Com, please go here!) and a link: "ご購入者様向けご利用方法など" (Usage methods etc. for purchasers).

At the bottom of the callout box, there is a link: "後払いドットコム導入を検討の方へ" (For those considering introducing Ato-Barai Dot Com) and a button: "すぐ分かる「後払い決済」" (Understand 'After-Payment Settlement' quickly).

# 導入背景

企業として切替を一斉に行なう事のリスクについて…  
業務特性的に問題が発生する可能性が低いと判断

## タイミング

- ・ PC購入の必要性
- ・ 基幹システム再構築

## 切り替えの必要性

- ・ Webサービス提供者としての責任

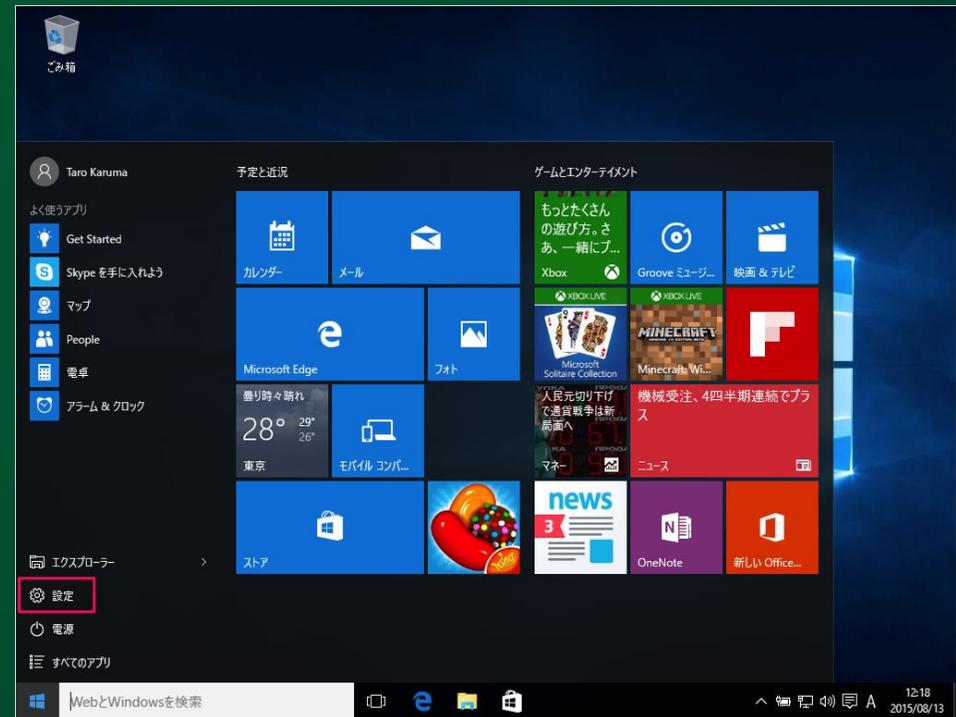
## 業務特性

- ・ 基幹業務システムがWebアプリケーションである
- ・ 基幹業務システムが特定のブラウザへの依存が無い
- ・ 社員のほとんどが基幹システムを使用した業務を行っている
- ・ 基幹業務システム以外の利用アプリケーションが、メジャー製品が主

# 導入後の現状（1）

## 【PCについて】

- ・ 検証用のWindows7  
および8.1の数台を除き、  
ほぼWindows10
- ・ Windows10のPCの多くは  
新規購入
- ・ Windows7および8.1からの  
アップデートも数例あり  
アップデート作業自体は、  
ほぼ問題無し  
（問題点は作業上での  
ドライバ入手等）
- ・ 導入エディションは、  
Windows10Proに統一



# 導入後の現状（２）

## 【業務システムについて】

ブラウザベース、かつ特定ブラウザへの依存が無い為…

- ・ 実際に移行を行っても自社の業務上はOSに起因する問題は発生なし
- ・ お客様（加盟店様）に加盟店向け管理画面をブラウザにて提供  
お客様環境で業務システムの動作不良報告無し
- ・ エンドユーザー様（購入者様）向けマイページをブラウザにて提供  
動作不良は発生報告無し

# 発生した問題点（1）

## 【社内発生】

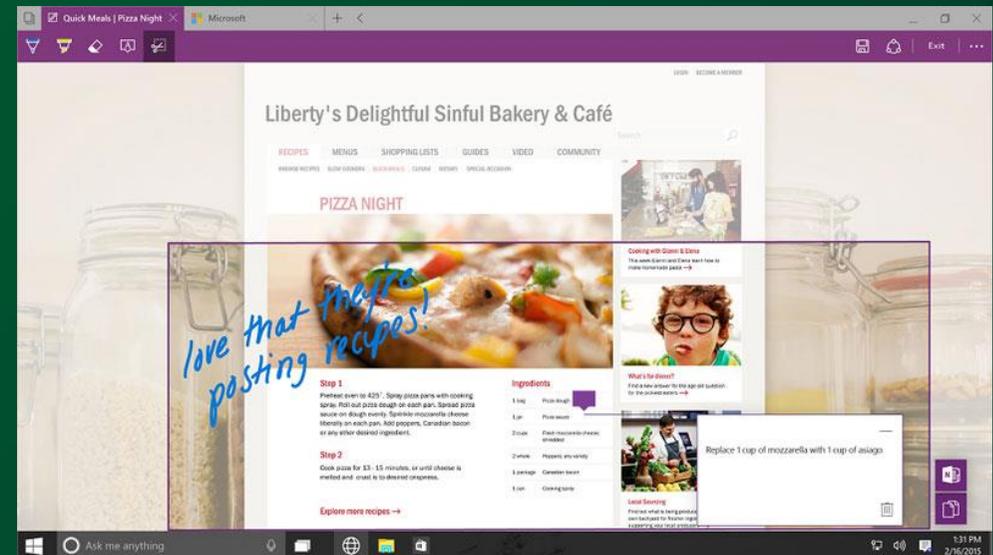
### 業務システム

Edgeでの動作には問題あり

- ・ ボタンが表示されずに正しく動作しない
- ・ 画面表示が崩れる

…等

業務にEdgeを使用しようとする  
限り、今後対応作業が必須



# 発生した問題点（2）

## 【社内発生】

VPNアプリケーション(関連会社とのデータ連携に使用)

- ・ Windows10へのアップグレード時
  - …アプリケーション側の問題でVPN接続が確立出来ない事象  
(Windows10への対応が遅れた)
- ・ Windows10のパッチ適用後
  - …再インストールと再セットアップが必要となる症状も発生

# 発生した問題点（3）

## 【社外発生】

お客様に提供しているアプリケーションにおける障害事例  
（.netFramework C#にて作成されたexe形式のアプリケーション）

- ・ Windows10のパッチ適用後

…パッチ適用まで動作していたものが突然動作(起動)しなくなる

原因は不明確ながら、別アカウントにてインストールすると動作した  
アップデート時のアカウントに関するセキュリティ上の変更が影響か  
事象が発生したのがアメリカ、かつWindows10も米国版、  
かつお客様のリテラシが低く、正確な検証は行えず

# 発生した問題点（？）

【その他、障害とは言えないものの…】

アップデート時、しばらく（数分）利用出来なくなるのは困りもの  
パッチ適用を自動に設定していると、  
いざ使おうと思った時に使えない、  
という状況に陥ったり



# 今後の懸念点（1）

- ・アップデートに関する問題について

Windows10へのアップグレード自体には(余り)問題は発生せず  
しかしながら、VPNアプリケーションの例にもあるように、その後の  
パッチ適用（Windows10のアップデート）時に問題が発生する事が  
見受けられる

今後も年に数回程度の規模の大きなアップデートが計画されているとの  
事であり、アップデートの内容によってはアプリケーションや周辺機器  
が正常に動作しない、といった問題が容易に想定される

この夏にWindows10の大型アップデート「Anniversary Update」が  
あるという事で、ここが試金石となりそう

# 今後の懸念点（2）

- ・ 無料アップデートについて  
7月末のWindows 7からの無料アップデート期限に間に合うかどうか、  
直近の問題が  
安定環境を取るか、コストを取るか…



Microsoft ストア ▾ 製品 ▾ サポート Microsoft.com を検索 🔍 🛒 サインイン

Windows 個人用 ▾ Windows 10 ▾ デバイス ▾ アプリ & ゲーム ダウンロード 方法

Windows 10 の登場です。  
無料で手に入れることができます。

新しい PC を購入する

Windows 10 をプレインストールしたデバイスを購入するか、Windows 8.1 搭載の PC を購入して無償でアップグレードします。

# 導入してみたの感想

## 【問題発生について】

- ・ 基本的に、これまでのOSアップグレードと大きく変わるものではない
- ・ OSとして大きなアップデートが行われている事を考えれば、現状はむしろ順調と言えるのではないか
- ・ WindowsXPやWindows7で長期的な安定した稼働に慣れてしまった反動で、OSのアップグレードに対してナーバスになり過ぎているのかも（これは、Vistaや8（8.1）の際に痛い目を見た事が大きな要因が…）

## 【OSをアップデートしないリスクをどう考えるか】

- ・ 古いOSのセキュリティホール対策をどのように考えるのか
- ・ 利用しているアプリケーションの動作確認やアップデートコストをセキュリティとのバスターで考えられるのか

# サポート終了の流れ（1）

- ・新しいプロセッサのサポートOSをWindows 10だけに（2016/1）  
Intelの場合、2016年後半に投入するとみられる「Kaby Lake」に対し、Windows10のみサポートしWindows 7/8.1はサポート対象外に。  
Intel以外についてもMicrosoftは同様の対応の予定。

- ・Skylake機はWindows7自体の延長サポートは2020年1月まで提供  
2018年7月まではアップデートや修正プログラムの提供を行うが、  
**2018年7月以降は緊急のセキュリティパッチ以外の提供は行わない。**

つまり、2018年7月以降、(Skylake機もしくは、それ以降の機種では)  
Windows7は十分なセキュリティを担保するOSではなくなってしまう  
可能性がある。

Windows7にダウングレードをし、延長サポートが切れる2020年1月まで  
使用するというシナリオは通用しない可能性が高い。

# サポート終了の流れ（2）

回避策は、

- ・ Windows10にアップグレードする？
- ・ 旧世代のCPUを搭載したPCを使い続ける（もしくは買い直す）？

# 非対応の社内アプリケーションは…(1)

自社開発のアプリケーションは、簡単にはWindows10対応に改修できない  
もしくは、パッケージソフトに移行できない

何故なら…

- ・ 企業の競争力の源泉となるサービス（ノウハウの集積）  
…ノウハウが無ければ作れない
- ・ 製品開発を担うアプリケーション（業務に必須）  
…止められない
- ・ 改修コストを掛けられるのか  
…ニーズがあって行う作業ではない

では、IT部門としてどのようにWindows10環境で利用するか

# 非対応の社内アプリケーションは…(2)

- ・「互換モード」の利用

Windows10で稼働しないアプリケーションのプログラムファイルを指定し過去のWindowsのバージョンで起動することができる機能。

Windows7で動いていたアプリケーションであれば、互換モードでWindows7を指定すれば起動できる可能性が高い。

互換モードはWindows10の標準機能のため、追加コストなどは不要。

- ・「Windows Bridge」(2016年後半予定)

既存資産を「ユニバーサルWindowsプラットフォーム」(UWP)として活用するための仕組みで、Win32や.NETアプリケーションをUWPアプリとしてWindowsストアで配信できるようになる。

<https://developer.microsoft.com/ja-jp/windows/uwp-bridges>

いずれも未知数ながら、可能性はありそう

# エディション構成

## 【Windows10のエディション構成】

- Windows10Home
- Windows10Pro
- Windows10Enterprise

## 【位置付け】

- Pro : 一般・業務向け
- Enterprise : 企業向けに

## 【提供方法】

- Pro : 小売り販売が中心
- Enterprise : ボリュームライセンスに限定

# アップデートルート（1）

<http://news.mynavi.jp/articles/2016/04/22/windows10business/>

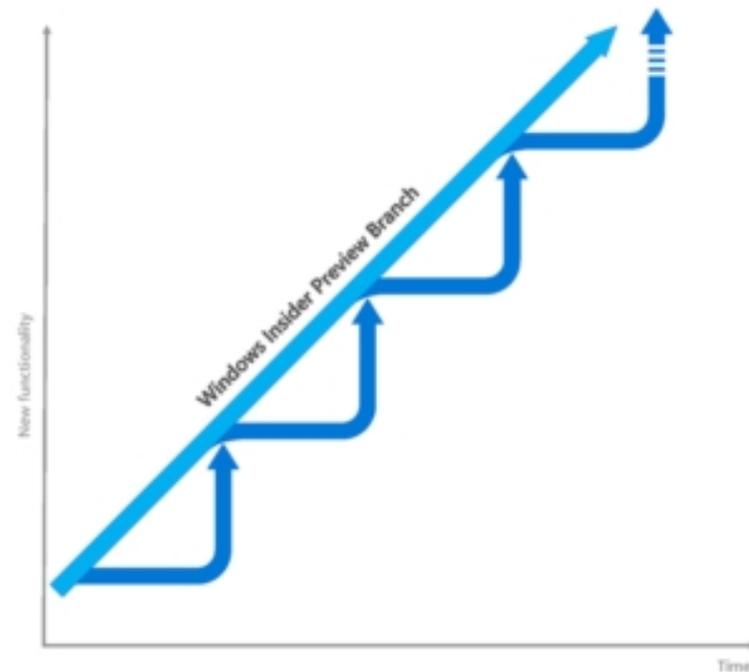
- ・一般的なアップデートブランチ

<CB(Current Branch)>

定期的に機能改善やセキュリティホールへの修正が行われる

## 最新モデル（CB）

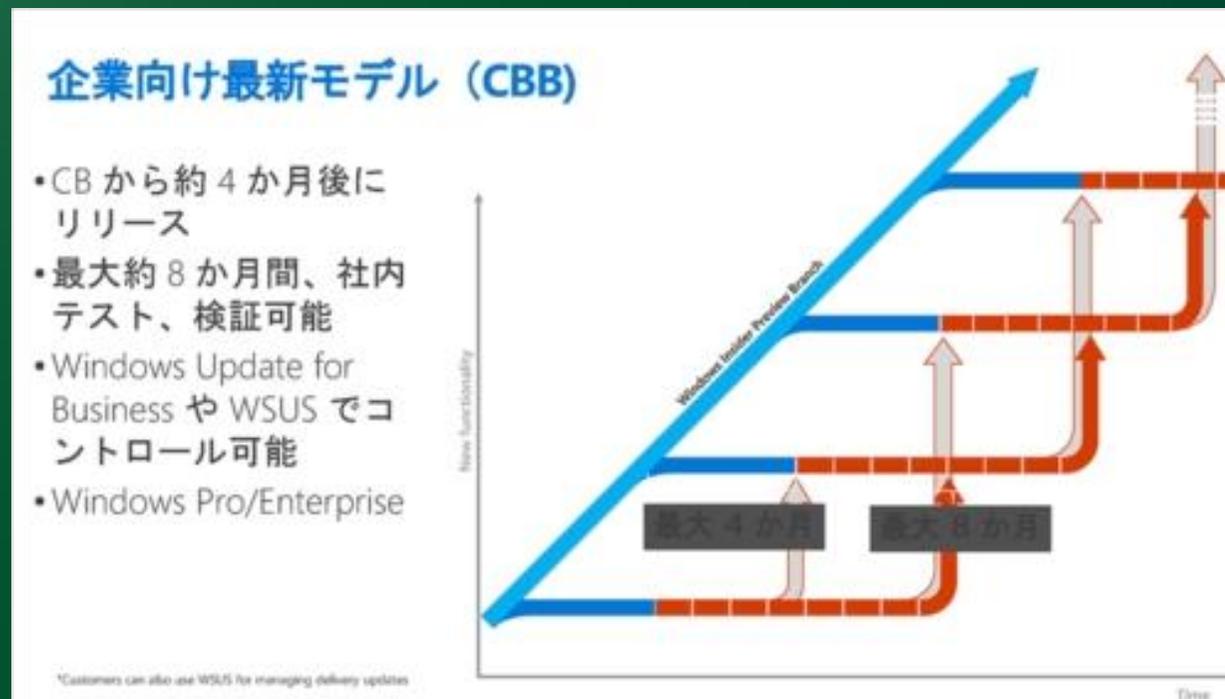
- ・Windows Update によるアップデート
- ・年に2-3回
- ・新機能や機能向上アップデート
- ・セキュリティパッチ・バグフィックスは定期的に配布
- ・全エディションで利用可能（デフォルト）



\*Customers can also use WSUS for managing delivery updates

# アップデートルート（2）

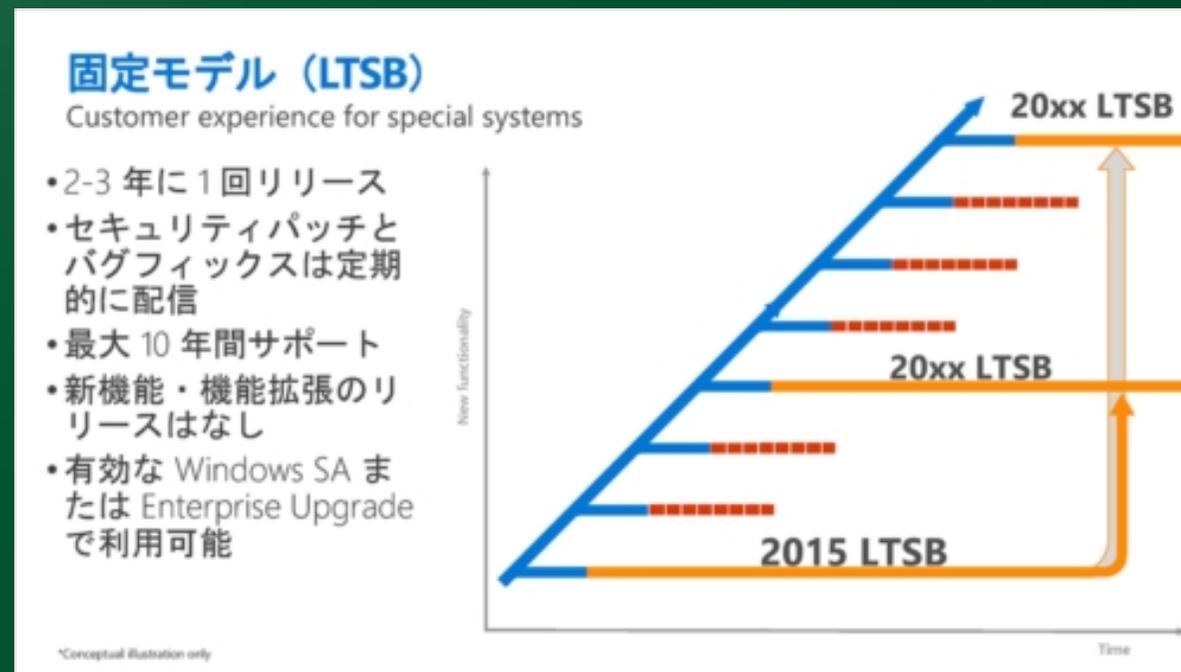
- ・ 業務用PCなど頻繁な更新・仕様変更にはそぐわないPC向け  
＜CBB(Current Branch for Business)＞  
機能改善は一定の検証期間を設けて更新プログラムを提供する



CBBはHomeを除くすべてのエディションで選択できる

# アップデートルート（3）

- ・金融機関などクリティカルミッションに用いられるPC向け  
〈LTSB(Long Term Servicing Branch)〉  
セキュリティホールおよびバグフィックスを目的とする更新プログラムのみを提供し、機能改善は基本的に行わない



LTSBはWindows 10 Enterprise専用のアップデートブランチ